

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社さわらぎ	階数	地上3F
建設地	京都府久世郡久御山町野村東93	構造	S造
用途地域	工業地域、工業専用地域	平均居住人員	35人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2021年10月29日
敷地面積	1,911㎡	作成者	瀬濤
建築面積	861㎡	確認日	2021年10月29日
延床面積	2,339㎡	確認者	神寄

外観パース等
図を貼付けるときは
「1」の深緑を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 0%
②建築物の取組み 15%
③上記+②以外の 6%
④上記+ 6%

(kg-CO₂/年・m²)
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能
Q1 室内環境
Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 1.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 設置義務基準を大幅に上回る規模の再生可能エネルギー設備を採用し、省エネルギー化に配慮した。		その他 なし
Q1 室内環境 小屋裏断熱、直射日光の入る方向に設置する窓に遮熱Low-E複層ガラスを採用し室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 高寿命の配管材を使用 (HIVP,FDPD,VP)	Q3 室外環境(敷地内) 外部照明器具の一部を常夜灯にし、敷地内外を含めた防犯性に配慮。
LR1 エネルギー 再生可能エネルギーの採用により、一次エネルギー消費量を抑制する計画とした。	LR2 資源・マテリアル 節水型大便器、小便器、自動水栓の採用	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車台数確保、敷地内で大型トラックによる物品の搬出入ができるスペースを確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される